

安全データシート

作成日 1994年04月01日  
改訂日 2014年05月01日

## 1. 化学物質等及び会社情報

製品名 : 珪酸ソーダ  
整理番号 : HS205  
会社名 : 北海道曹達株式会社  
住所 : 北海道登別市千歳町2丁目12番地  
電話番号 : 0143-85-2411  
FAX番号 : 0143-85-2507

## 2. 危険有害性の要約

人の健康に対する有害性

: 眼や呼吸器を刺激し、皮膚に長時間付着すると炎症を起こすことがある。  
飲み込んだ場合には、嘔吐、腹痛、下痢などを起こすことがある。

環境への影響

: アルカリ性のため、水生生物に有害である。

物理的及び化学的危険性

: アルカリ性のため、酸と反応する。

特有の危険有害性

: 腐食性がある。

GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体

: 区分外

自然発火性液体

: 区分外

健康に対する有害性

急性毒性(経口)

: 区分4

急性毒性(経皮)

: 区分外

急性毒性(吸引・ガス)

: 分類対象外

急性毒性(吸引・ミスト)

: 区分外

皮膚腐食性・刺激性

: 区分1

眼に対する重篤な損傷・眼刺激性

: 区分1

呼吸器感作性と皮膚感作性

: 分類できない

生殖細胞変異原性

: 分類できない

生殖毒性

: 分類できない

特定標的臓器・全身毒性(単回曝露)

: 区分外

特定標的臓器・全身毒性(反復曝露)

: 区分外

吸引呼吸器有害性

: 分類できない

環境に対する有害性

水生環境急性有害性

: 区分外

水生環境慢性有害性

: 区分外

絵表示またはシンボル

: 該当なし



注意喚起語

: 危険

危険有害性情報

: 皮膚に接触すると刺激感、発赤、痛み。  
飲み込むと、嘔吐、腹痛、下痢、悪心、胃出血等を起こすことがある。  
吸入すると、鼻、のどの刺激。  
眼への刺激感、発赤、痛み、かすみ眼の症状。

注意書き	
予防策	: 使用前に本紙の安全注意事項を読み取り扱う事。 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。 取り扱った後、手、顔などをよく洗うこと。 指定された個人用保護具(眼鏡、手袋、保護面、保護衣、長靴等)を着用する。
対応	: 飲み込んだ場合は、口の中を洗浄する。多量の水を飲ませる。 皮膚に付着した場合は、多量の水で洗うこと。 眼に入った場合は、水で15分以上洗うこと。刺激が続くときは医師の診断を受ける。 取扱後は、よく手を洗うこと。
保管	: 低温では粘性が高くなり、使用が困難となる場合があるので保温する。 但し、高温下で長時間放置すると水分が蒸発し濃縮するので注意する。
廃棄	: 内容物又は容器を廃棄する場合には、都道府県の規則に従うこと。

### 3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区分	: 単一製品
化学名又は一般名	: 珪酸ナトリウム、水ガラス
別名	: 珪酸ソーダ
化学式(化学特性)	: $\text{Na}_2\text{O} \cdot n\text{SiO}_2 \cdot x\text{H}_2\text{O}$
含有量	: $\text{SiO}_2=22\sim33\%$ $\text{SiO}_2/\text{Na}_2\text{O}=2.1\sim4.05$ (モル比) $\text{Na}_2\text{O}=5.3\sim15.5\%$
化審法番号	: 1-508
安衛法番号	: 1-508
CAS番号	: 1344-09-8

### 4. 応急措置

吸入した場合	: 被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移動し水でよく口の中をうがいし、医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	: 大量の水を使用して十分に洗い落とす。 外観に変化が見られたり、痛みがある場合には医師の診断を受ける。
目に入った場合	: 直ちに大量の水道水で15分以上洗う。まぶたの裏まで完全に洗う。 直ちに医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合	: 意識のある場合には多量の水を飲ませ、吐出させる。 直ちに医師の診断を受ける。

### 5. 火災時の措置

消火剤	: 不燃性。
特有の危険有害性	: 特になし。
特有の消火方法	: 危険でなければ火災区域から容器を移動する。

### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急措置	: 作業の際は保護具を着用し、飛沫などが皮膚に付着しないようにする。
環境に対する注意事項 回収、中和	: 環境への影響を起こさないよう、河川などに排出しない。 乾燥土、砂や不燃材料に吸収し、あるいは囲って密閉できる空容器に回収し、後で廃棄する。後処置としては、漏洩場所が排水のpHに問題がある時は多量の水で希釈した後に酸でpHを調整する。濃度の高い状態で酸を加えるとゲル状物が析出し排水溝などを閉塞させるおそれがある。
二次災害の防止	: 危険でなければ洩れを止め、排水溝、下水溝、地下室等の閉鎖場所への流入を防ぐ。 漏出した場所には、ロープを張るなどして関係者以外の立入りを禁止する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

## 取扱い

- 技術的対策 : 保護具を着用し取り扱う。  
 局所排気・全体換気 : 特になし。  
 注意事項 : 皮膚、眼等への接触を避ける。  
 安全取扱注意事項 : 使用前に使用説明書を入手すること。  
 すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
 接触、吸入又は飲み込まないこと。  
 取扱後はよく手を洗うこと。  
 この製品を使用する時は、飲食又は喫煙をしない。

## 保管

- 保管条件 : 低温では粘性が高くなり、使用が困難となる場合があるので保温する。  
 但し、高温下で長時間放置すると水分が蒸発し濃縮するので注意する。  
 容器包装材料 : 鉄製等又は耐蝕性の容器に保存する。  
 アルミニウム、亜鉛、スズ、銅、鉛などの金属は腐食されるので使用しては  
 いけない。

## 8. 曝露防止及び保護措置

- 設備対策 : 取扱い場所の近くには、手洗い、洗眼などの設備を設ける。  
 管理濃度 : 未設定  
 許容濃度 : 日本産業衛生学会 (2006年度版) : 設定されていない。  
 ACGIH (2006年度版) : 設定されていない。  
 保護具  
 呼吸器の保護具 : 特になし  
 手の保護具 : ゴム手袋  
 目の保護具 : ゴーグル型  
 皮膚及び身体の保護具 : ゴム長靴、保護衣

## 9. 物理的及び化学的性質

## 外観

- 物理的状态 : 水飴状の無色又は僅かに着色した液体  
 形状 : 液体  
 色 : 無色又は僅かに着色  
 臭い : なし  
 pH : 11~13  
 融点 : 0°C以下(凝固点)  
 沸点 : 100~120°C  
 引火点 : 不燃性  
 爆発範囲 : 不燃性  
 蒸気圧 : データなし  
 比重(相対密度) : 1.27~1.59(15°C)  
 溶解度 : 水に任意の割合で溶ける。  
 オクタノール/水分配係数 : データなし  
 自然発火温度 : データなし  
 分解温度 : データなし

## 10. 安定性及び反応性

安定性	: 通常の条件では安定性がある。
反応性	: 酸を加えるとけい酸が析出する。 アルカリ塩類と混合すると、条件により、粘度上昇や沈殿物の析出がある。 カルシウム、マグネシウム、アルミニウム、その他の重金属と混合すると、 けい酸金属、金属の水酸化物、けい酸など種々の沈殿物を生成する。
危険有害反応可能性	
避けるべき条件	: データなし
混触危険物	: 酸化性物質
危険有害な生成物	: 特になし

---

## 11. 有害性情報

急性毒性	: 経口; データなし : 経皮; データなし : 吸入(蒸気); データなし
皮膚腐食性・刺激性	: アルカリ性で皮膚や粘膜を刺激する。
眼に対する重篤な影響・刺激性	: 眼の粘膜を刺激する。
呼吸器感作性	: データなし
皮膚感作性	: データなし
生殖細胞変異原性	: データなし
発がん性	: データなし
生殖毒性	: データなし
特定標的臓器・全身毒性	
(単回曝露)	: データなし
(反復曝露)	: データないが、反復曝露で有害性が発生することがある。
吸引性呼吸器有害性	: データなし

---

## 12. 環境影響情報

生態毒性	
魚毒性	: データなし
その他	: データなし
残留性・分解性	: データなし
生体蓄積性	: データなし
土壌中の移動性	: データなし

---

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 多量の水で希釈し酸で中和し廃棄する、但し廃棄の際は関係法令を厳守する。濃度の高い状態で酸を加えるとゲル状物が析出する。
汚染容器及び包装	: 容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約して処理する。

---

## 14. 輸送上の注意

国連分類	: クラス8
国連番号	: 1760
国連輸送名	: 該当なし
容器等級	: PGIII
海洋汚染物質	: 該当なし
日本国内での規制情報	: 海洋汚染防止法に定められた運送方法に従う。 移送時にイエローカードを携帯させる。

---

## 15. 適用法令

水質汚濁防止法	:生活環境項目「水素イオン濃度」
船舶安全法	:腐食性物質
航空法	:腐食性物質
海洋汚染防止法	:有害液体物質(Y類物質)

## 16. その他の情報

記載の取扱い : 全ての情報や文献を調査したわけでないため情報もれがあるかも知れません。また、新しい知見の発表や従来の説の訂正により内容に変更が生じます。記載内容のうち、含有量、物理化学的性質などの数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅したわけではありませんので、取扱いには十分注意願います。

製品の譲渡時にはSDSを添付して下さい。

SDSに関するお問い合わせ

: 営業部営業課

合わせ先 Tel: 0144-55-3788

Fax: 0144-55-1193